

参加結果の概要

1. 第19回ITS世界会議

- (1) 日程 平成24年10月22日～26日
- (2) 会場 メッセ ウィーン
- (3) 主催 オーストリア交通技術省等
- (4) 参加国数・参加者数 90カ国 約10,000人
- (5) 会議の趣旨
 - ・ ITS世界会議は、世界各国からITS関係者が集まる年に一度の会議であり、各国がITS技術を他国へアピールする場となっている。
 - ・ 来年はこの会議が東京で開催される予定。
- (6) 結果概要
 - ・ 22日に開催された開会式にアジア太平洋地域代表として若井国土交通大臣政務官が出席し、挨拶を行いました。この中で、平成25年に東京で開催予定の第20回ITS世界会議東京への参加の働きかけを行いました。
 - ・ 我が国を含めた各国の最先端のITS技術を展示する展示会場のオープニングセレモニーが23日に開催され、若井国土交通大臣政務官が来賓として出席しました。また、この展示会場の中で国内の官民が出展する日本パビリオンのオープニングセレモニーにも参加し挨拶を行うとともに、ITS分野に関する我が国の取り組みのアピールを行いました。



開会式挨拶



展示会場オープニングセレモニー

2. 閣僚級ラウンドテーブル

- (1) 日程 平成24年10月22日
- (2) 会場 メッセ ウィーン
- (3) 主催 オーストリア政府、欧州委員会、キプロス政府
- (4) 参加国数・参加者数 31カ国（21閣僚）、9関係機関
- (5) 会議の趣旨
 - ・ 各国の道路交通問題の解決に向けてITSの活用が非常に重要であり、特に、国によらずどの地域でも適用可能なサービスを実現するためには国際協調が必要であることから、各国の閣僚級の参加による意見交換を実施。
 - テーマ1：既に導入済のITS施策に関する成功ストーリー
 - テーマ2：今後のITS導入の課題

(6) 結果概要

- ・我が国からは若井国土交通大臣政務官が参加し、テーマ1について発言しました。その中で、先進的に我が国で実現した地図のデジタル化、それを受けて広く普及しているカーナビ、リアルタイムな道路交通状況の把握、さらに渋滞緩和に貢献している情報提供システム等の日本のITS技術についてアピールを行いました。また、各国の道路交通問題の解決に向けて、これらITSに関する技術協力について日本が最大限の協力をを行うことへの意思表示を行いました。
- ・総括として、適切なITS技術とサービスを国の交通政策に位置づけるためには、より強い政治の参画が必要であることなどについて共同宣言を行いました。
- ・また、アジア太平洋地域代表として、平成25年に東京で開催予定の第20回ITS世界会議東京への参加の働きかけを行いました。



会議の様子



若井国土交通大臣政務官による発言



会議への参加者